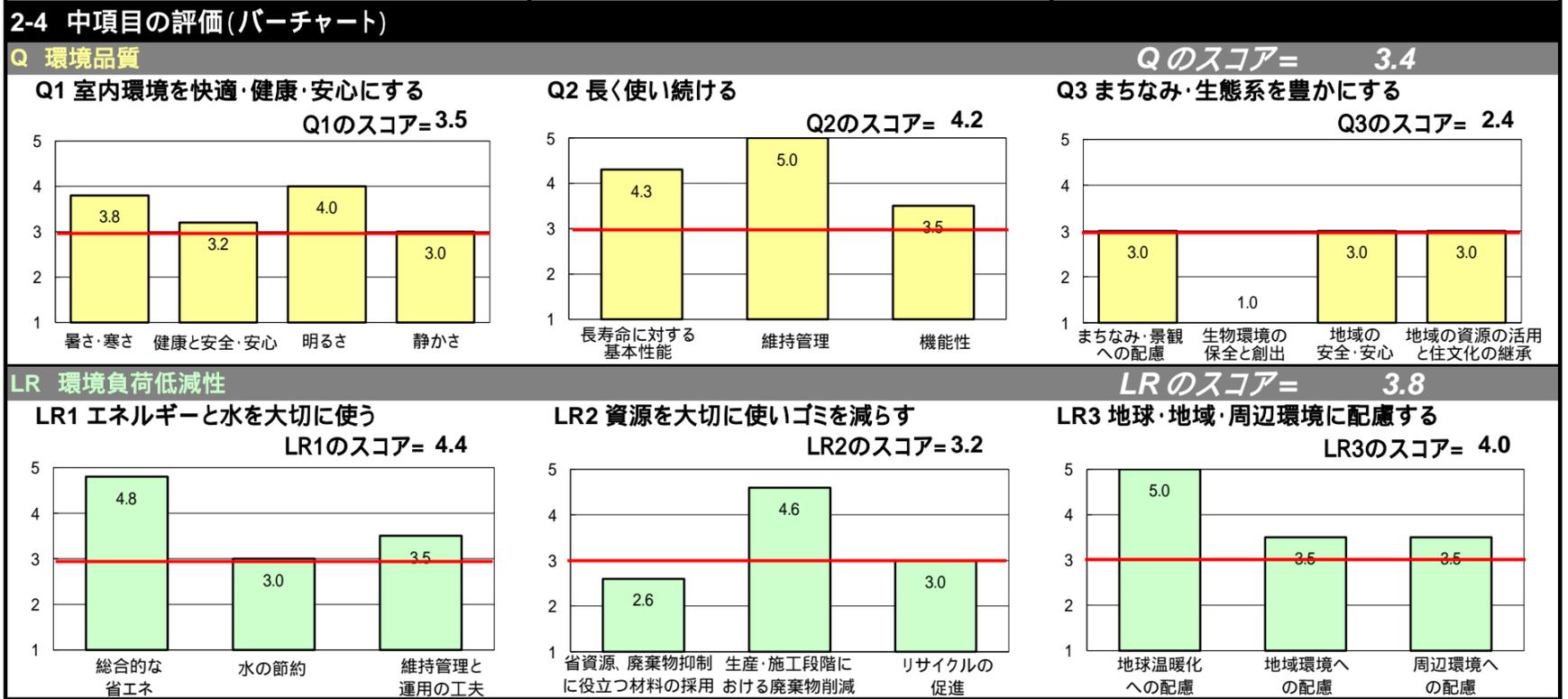
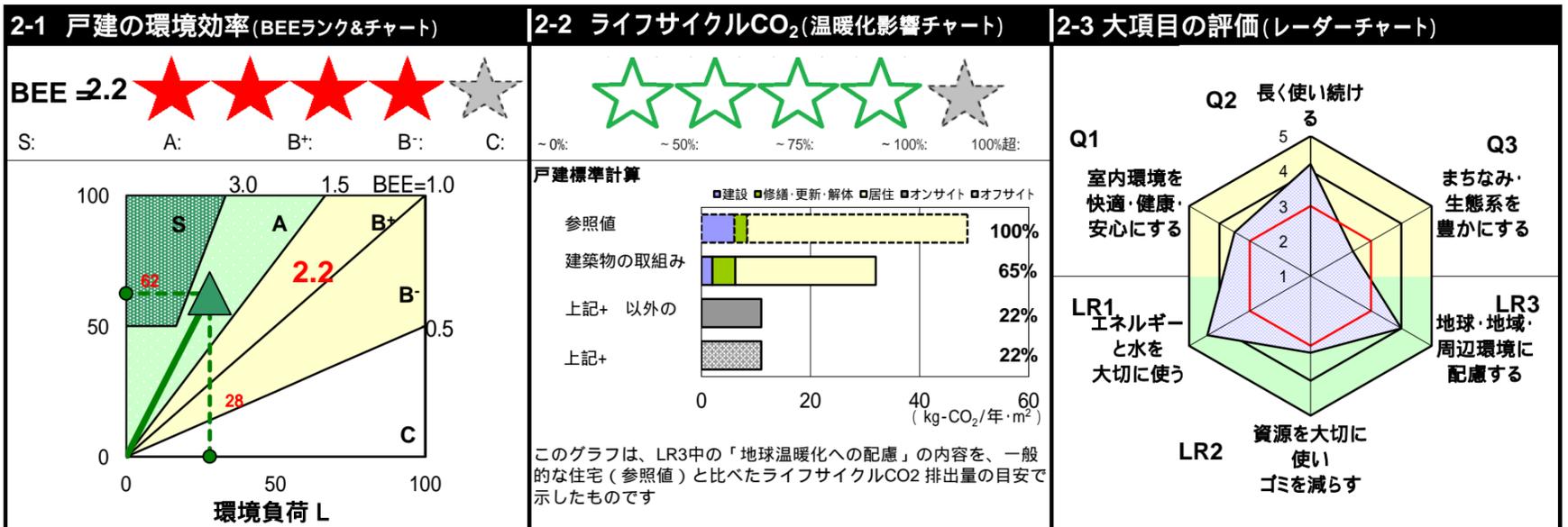




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2020年1月	竣工	<備考>		
建設地	横浜市鶴見区諏訪坂				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2019年6月22日	
階数	2		作成者	中西 一真	
敷地面積	143 m ²	確定	確認日	2019年6月30日	
建築面積	71 m ²	確定	確認者	大久保 瑞紀	
延床面積	139 m ²				
世帯人数	3	確定			



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>東道路の敷地で既存家屋は道路際までの建築を、今回はアプローチと植栽スペースを設け、ゆとり街並みを形成する外観とした。外壁材はベージュと茶系のタイルを採用して温かみのある景観形成を行う。1階の居間は国産材のクリ材の無垢フロア、2階の居間はウォルナット材の無垢フロアで、肌触りよく素材感を高め、居心地に配慮した設計とした</p>		<p>その他</p> <p>既存家屋が東道路面と北側隣地側は境界いっぱいの状態を、今回は適切な離れをとり周囲の風通しと見通しを確保した。</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>省エネ基準3地域断熱仕様とアルミ樹脂複合サッシにLOW-E複層ガラス(アルゴンガス入り)採用で冷暖房不可の軽減 深い庇で日射調整への配慮 居間において一方向の開口部ではあるが、隣接する部屋又はホール間に引戸を設け通風を確保</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>地盤調査に基づく安全な基礎設計 オリジナルのピックアップフレーム工法による高い耐震性と高耐久化 適切な床下通気と外壁通気による高い耐久性 給水、給湯、排水ヘッダーの採用により容易な維持管理</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>外装材にベージュと茶系のタイルに加え、同色系の木調部材で統一感を図り、寄棟屋根形状で周囲の建物より突出すること無く町並みを形成 建物と道路間に植栽を設け景観形成に寄与</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>屋根に太陽光発電を搭載 照明はすべて省エネ、高寿命のLEDランプタイプを採用 節水便器を採用</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>外壁下地材への省資源・廃棄物抑制に役立つ、間伐材の杉材利用 構造材、羽柄材にPC材を採用し現場での廃材を大きく低減 横浜支店でもISO14001認証取得</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>造成を行わず従前の地形をいかし、建物配置も道路から離れを取っている。従前の表土を残し雨水の浸透を促す外構計画</p>



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号()を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 62 %削減



一次エネルギー消費量基準 適合

外皮基準 適合

0

受付日 2019年7月1日

誘導基準

エネルギーを大切に使う (建物の工夫 設備の性能 維持管理と運用)

屋根に太陽光発電を搭載

照明はすべて省エネ、高寿命のLEDランプタイプを採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

室内環境対策 (暑さ・寒さ)

断熱等性能等級 等級4 (相当)

断熱等級4を超える水準

室内環境を快適・健康・安心にする (健康と安全・安心)

ホルムアルデヒド対策において等級3を満たしている

適切な計画換気システムが設置されている

その他の対策 (自然材料・通風の工夫など)

工夫の有無 あり

居間において一方向の開開口部ではあるが、隣接する部屋又はホール間に引戸を設け通風を確保

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

災害に備える (災害に備える 長寿命に対する基本性能 地域の安全・安心)

耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)における等級3を満たしている

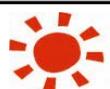
劣化対策等級3を満たしている。屋根、外壁材に30年の耐用年数の仕上げ材を採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

まちなみ・生態系を豊かにする (まちなみ・景観への配慮 生物環境の創出)

外装材にベージュと茶系のタイル、同色系の木調部材で統一感を図り、寄棟屋根形状で周囲の建物より突出せず、街並みを形

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・

蓄電池 ・



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.4
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.5
1 暑さ・寒さ		3.8	0.50	3.8
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.2	0.30	3.2
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	4.0	0.25	-
3 明るさ		4.0	0.10	4.0
3.1 昼光の利用		4.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.2
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.4
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.8
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.4
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.0	0.15	3.0
2.1 節水型設備		3.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.2
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.6	0.60	2.6
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	1.00	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		3.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		4.6	0.30	4.6
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		4.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	4.0
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		3.5	0.33	3.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		4.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.5	0.33	3.5
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		4.0	0.50	-